

第3回小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

日 時 平成28年10月3日(月)午後6時30分～午後7時03分

場 所 第二庁舎6階 601会議室

出席委員 9人

委員長	渡 邊 嘉二郎	委員			
副委員長	小 川 順 弘	委員			
委 員	鴨 下 明 子	委員	橋 田 壤 志	委員	
	松 本 敏 朗	委員	本 間 紀 行	委員	
	小 宮 貴 大	委員	沼 崎 明 大	委員	
	天 野 建 司	委員			

事務局職員

企画政策課長	三 浦 真
企画政策課企画政策係長	古 賀 誠
企画政策課企画政策係主任	高 野 修 平
企画政策課企画政策係主事	齋 藤 彬 子

傍 聴 者 0人

(午後6時30分開会)

◎渡邊委員長 それでは、ただいまから第3回小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会を開催したいと思います。

次第でございますように、今日は議題が3つございます。「小金井市まち・ひと・しごと総合戦略」施策の効果検証について、それから、今年度の委員会を締めくくるに当たっての感想について、最後が次年度委員会の開催についてということでございます。

初めに議題1、「小金井市まち・ひと・しごと総合戦略」施策の効果検証についてを議題としたいと思います。それでは、事務局からご説明をお願いいたします。

◎古賀企画政策係長 前回の委員会におきまして、一通りの検証を行っていただいておりますので、本日は前回検証していただけていない評価シート1番及び全体を通して特にご意見等がある評価シートに絞って議論していただきたいと思います。

なお、事前に委員の皆様方にご連絡させていただいておりますとおり、評価シート2番、4番、22番及び25番につきましては一部修正を行ってございます。事前に委員の皆様に変更になったところをお知らせしておりますが、再度ご確認をいただければと思います。

また、あわせて評価シート1番についてでございますけれども、平成27年度の結果につきましては、6.81平方メートル、こちらは速報値ということで記載させていただいており

ますけれども、本日担当課より6.81平方メートルで確定したと連絡を受けておりますので、あわせてご報告させていただきます。

◎**渡邊委員長** ありがとうございます。それでは、議題1の「小金井市まち・ひと・しごと総合戦略」の効果検証ということで、初めに、皆さんのお手元に郵送されたと思いますけれども、この1枚の評価シート1についてご意見を伺いたいと思います。

前回これだけが抜けていたわけでございますけれども、これは小金井の魅力を発信し、交流人口の増加を図ることにより、地域の活性化につながるまちということで、基本方向が、魅力が共存する小金井らしいまちづくりの推進、指標が、市民1人当たりの公園の整備面積、指標の説明ということで、市内の国都市立公園の面積合計を市民で割ったものということで、市民1人当たりどれくらいの公園があるかという指標でございます。

結果の説明と次年度に向けての方向ということがございますが、それに対して、私が△で、関係者との協議に時間がかかるので、密度の高い協議を進めるべきであると。それから松本委員が、狭い公園、安全性で疑問のある公園も多いのではないかと、今後は「公園」の中身、規模が問われることになろうということで、憩いの場、軽運動の場、遊戯の場、安心安全等というご意見。これを受けて、関係者との協議に時間がかかるので、密度の高い協議を進めるべきであり、今後は公園の中身や規模が問われるようになるであろうということで、2人の意見が集約されている、こういう格好となっております。

何かこれについてご質問とかご意見ございますか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎**渡邊委員長** よろしゅうございますかね。では、これでいいということで、全体的なところで何かご意見ございますか。松本委員から修正があったということですよ。

◎**松本委員** コメントの部分です。

◎**渡邊委員長** ちょっと表現を変えてほしいと。

◎**松本委員** ええ、趣旨は同じですが、少しわかりやすくするため修正をさせていただきました。

◎**渡邊委員長** あと、25というのも同じですね。それ以外のところは市役所のほうで表現を適切にしたということで、内容的に変わっていることはないかと思います。要するに、表現を厳密化したと言ったらいいんでしょうか。

それで、新しいバージョンとして資料5が出ています。前回は逐一読ませていただいて、確認させていただいたので、内容的には問題なからうかと思いますが、何かございますか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎**渡邊委員長** よろしゅうございますね。では、議題1として、「小金井市まち・ひと・しごと総合戦略」施策の効果検証については委員会としてオーケーと。この評価のまとめについては、現在「案」というのがついていますけれども、「案」を取り除いた格好で、委員会で一応了承していただいたという建前で、これを取り除いて、市における成果物として公表等をする

ということになるかと思いますが、よろしゅうございますね。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎渡邊委員長 ありがとうございます。それでは、議題1を終了いたします。

◎渡邊委員長 次に議題2、今年度の委員会を締めくくるに当たっての感想ということで、今日が今年度における当委員会の最後の日になりますので、委員の皆さんから小金井市におけるまち・ひと・しごと創生ということで何か感想等があればお話ししたいと思っております。小川副委員長からお願いします。

◎小川委員 本当に回数の少ない中で、皆さんがよく読み込んでご意見をくださっているんだなというふうにすごく感じました。いわゆる小金井のレベルの高さというのはこういうところに発揮されているんだなというのをすごく感じました。

ただ、こういうような創生総合戦略推進ということでも、予算絡みになると、やはり前もお話ししましたが、賛成するのも市民、反対するのも市民というところの難しさがあるんだなと思っています。パイの大きさは変わらないのか、だんだん小さくなっていくところでより充実したものを作っていくという難しさがあるんだなというのをいつも感じております。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。天野委員、お願いします。

◎天野委員 私は事務局の一員でもあります立場で、今回は参加させていただきましてありがとうございます。まず、委員の皆様におかれましては、難しい問題ではあるんですけども、真剣に考えていただきましてありがとうございます。御礼申し上げます。

感想でございますが、正直申し上げますと、私もまち・ひと・しごと創生総合戦略ということに関しましては、小金井市自体がまだ人口微増という状況があって、なかなかぴんとこない部分はありました。しかし、日本全体においては、特に地方においてはすごい勢いで人口が減少して、シャッター街ができたりとか、本当に日本自体が縮小していくみたいな状況があるということなんですね。どう考えたらいいのかなと思っていて、やはり人ごとではなくて、小金井市も自分たちの問題として受けとめて考えていかなければならないと思ひまして、参加させていただきました。

やはり小金井市が、今後人口減少といいましょうか、生産年齢が減っていく、また若者が減っていく、子どもが減っていくという状況の中でどう対応していいのかというところで、まちなぎわいですとか、子育て・子育て支援とか、安全・安心のまちづくりという3つの柱を立てて、小金井市がこの問題に立ち向かっていくということをこの計画で示しておりますので、皆様からいただいたご意見も踏まえまして、今後の政策、または予算に生かしていければと思います。どうもありがとうございます。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。沼崎委員。

◎沼崎委員 短い間でしたが、ありがとうございます。このような機会がないと、なかなかそれぞれの市の細かい計画ですとか、目標数値ですとか、じっくり拝見させていただく機会も

ございませんので、大変貴重な機会になったかと思っております。

仕事柄いろんな地域の方とお話しする機会があるんですが、市民の方が積極的に動いて、地域の中で様々な活動をしていくという事例が、以前に比べてかなり増えてきているという印象を受けています。そういった市民の方々の動きを大事にさせていただいて、市役所の側でもぜひ後押しをしていただければ、よりよいまちになっていくのかなと思います。また来年度以降、この委員会があると思いますが、そういった中でまた議論できていければと思いますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

◎**渡邊委員長** ありがとうございます。小宮委員。

◎**小宮委員** すいません。私はちょっと回数が、1回出られなかったりとか、大変申し訳なかったんですが、こちらの総合戦略の検討から私もやらせていただきまして、私も隣の市に住んでいるということで、小金井市には非常に身近というのか、そういう気持ちを持ちながら参加させていただいておりますので、ぜひこの実績値が来年度はもっとよくなっていくような形になっていけばいいなと思っております。

ただ、あと、我々は労働組合の集合体で、いろいろな企業の方に聞いたりとか、調査していただいている別の市に、少し政策のところをお願いをしたりというところもありますので、ぜひ小金井市だけではなく、隣近所、私が住んでいる府中市がそうなんですけども、隣近所の市とかいうところのコミュニティーみたいなものを少し交えていかないと、なかなか発展というのも、これも先ほど天野委員がおっしゃっていたとおり、人口減になってくると、もう少し大きい単位で考えていかないといけなくなってくるんだらうと思っておりますので、私も府中市に住んでいますので、小金井市さんと密接につながったりというのが市民の中でもつながって、市民もつながるというところが今後、新たな課題として出ているのかなんていうふうに私個人としては思っています。

また来年度こういう機会があれば、私も総合戦略を検討した委員の1人として結果を見たいと思っておりますので、またよろしく願いしたいと思っております。

◎**渡邊委員長** ありがとうございます。本間委員。

◎**本間委員** 僕は創生総合戦略の評価というのは経験したことがないので、非常にいい経験になりました。第1回は出られなくて、評価シートの委員評価というところで、時期的にいろいろあって実行することができなくて、私の意見をあんまり出すことができなくて申し訳ありませんでしたけど、すぐに結論を出せることでもないし、すぐに決まった戦略を出せるものではないので、また来年以降につながっていけばいいなと願っています。

◎**渡邊委員長** ありがとうございます。松本委員。

◎**松本委員** 小金井市の人口は12万人というところですから、本当にごく小さなまちですね。そういう規模のまちがどう生きていくのかな、どうやっていくのかなと正直疑問に思うところはありました。30万人とか40万人なければ、都市機能はなかなか維持できないのではないかなと思うんですけど、そういう中で、12万人のまちが持続可能性を求めていくというのは、

私自身としては疑問があるものの、そういう時代ということで、非常にチャレンジングなテーマなのかなと思って参加させていただいたところです。

いろんな材料を読み切れないぐらいいただきました。しっかり勉強させていただいて、それをまた生かしながら、自分なりに考えていきたいなと思っているところです。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。橋田委員。

◎橋田委員 率直な感想として、これに取り上げられた議題というか、指標とかが、ふだん生活している中ではなかなか意識していないことなので、誰もが思っている問題というよりは、そういうことを専門的に考えないとなかなか考えられないような議題なので、喫緊の課題というよりは、将来を見据えた課題が多いというのがあるので、そういうのを考えること自体がなかなか難しいですし、何を問題にするのかということから、結構、そのテーマ設定自体がかなり難しい問題だなと、初めてこういう会議に呼ばれて考えるようになったので、そこだけでもありがたいなと思いました。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。鴨下委員。

◎鴨下委員 私も橋田委員と同じように、このような機会に参加させていただいたことで、市がこういうことをしてくださっている、市民のために、よりよいまちにするためにはこういうことをしているんだなというのが知れたのはすごくよい、貴重な経験となりまして、これが少しでもよい形で、予算とうまいぐあいに合わさって、実現できていったらいいなと思います。ありがとうございます。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。皆さん勉強されたということですから、ぜひ市のほうにお返しを、いろんなアクティビティーを通してやっていっていただければと思っています。

私も一言だけ申し上げますと、今度10月9日に東京学芸大学で「青少年のための科学の祭典」というのがあります。私は実行委員をしているんですけども、これは東京学芸大学と東京農工大学と法政大学の教員が参加して、あと地域の人たちが参加して、盛り上げてみたいなことです。

小金井というのは非常に潜在的な財産を持っているんだろうと思うんです。それは大学、教育機関ということですね。前もちょっとお話ししたと思うんですけども、私の田舎は岩手県の北上市というところですけども、高校までしかないんですね。大学はないんです。それで、市の教育長は大学がほしいと。とにかく大学がほしい、そしたら地域が活性化するというんですね。卓見だなと思うんですけども、やっぱり地域の中にそういう高等教育機関があって、それが市民と、あるいは行政とうまくコラボレーションしていくと、これは将来にわたって小金井市を作っていく基盤になる。そこで学んだ子どもたち、教えた学生たちがコラボレーションしていくという非常に得がたい財産を持っている。東京学芸大学、東京農工大学、法政大学の理工学部があって、専門学校がありますよね。こういうところはあんまりないのかなと。

しかも、国立大学は全部地域連携をやりなさいと文部科学省から言われているわけですよ。だから、何かそういうことをやっていくと、パイはどんどん小さくなるかもしれないけれども、

ひょっとしたら大きくなるかもしれないし、少なくともパイの中身は、たい焼きじゃないですけど、あんこがうんと増えるかもしれないと思うので、何かそういう隠れた小金井の財産、実は隠れていないんですけども、生かすような小金井の財産というのを活用していくと、もっとよくなるのかなと思っています。

京都がすごいと思うのは、もちろん昔の天皇が京都にいたということもあるんですけども、やっぱり京都というのは学生さんを非常に大切にしますよね。京都大学の学生でも、どこでも学生さんを大切にする。だからみんな最終的には京都に残りたいと、結構なっちゃうわけですよね。だから小金井でもそういう、学生さん、生徒さんを大切にする文化があったらいいのかなと思います。

僕は、一番安い地域改革は教育かなと思っています。下世話な話ですけども、小金井の中学生、卒業生のほとんどとは言いませんけども、大半が東京大学に入れたと、もしそうなったとする。東京大学がいいかどうかは別として、仮にそうなったとしたら、みんな小金井に引っ越してきたくくなりますよね。そういう教育もできると、小金井はあつという間にパイが大きくなると思うんです。だから、教育というのは一つの大きな地域創生の柱かなという感じがしますね。

アメリカのサンノゼとか、大学があるからシリコンバレーができて、シリコンバレーができて世界中の半導体、ソフトウェアの企業が集まってくるようになったんですけど、そういうこともあるので、たしか去年これを作るときも、東京学芸大学の先生もいて、結構地域と連携した教育をやりたいという話がいっぱい出てきたと思いますので、そういうことをやればいいのかなんて実は思いました。

ほかに何か、特に言っておきたいことはないですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎渡邊委員長 それでは、議題2を終了いたします。

◎渡邊委員長 最後の議題、次年度委員会の開催についてというところに移りたいと思います。事務局のほうから何かございますか。

◎古賀企画政策係長 今年度の委員会は本日で最後となります。委員の皆さんの任期は平成30年3月31日までとなっておりますので、次年度の委員会にも委員としてご出席していただくこととなりますが、次年度の開催日等の日程調整につきましては来年度に入ってから行いたいと思います。具体的には、第1回の開催候補日を文書もしくはメールにてお知らせし、委員の皆様方が一番多くご出席いただける日に開催したいと考えております。

なお、今年度は暫定予算の影響で8月からの開催となりましたが、来年度につきましては6月もしくは7月から開始する予定です。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。今年度は市長さんがかわったりしたということと、このまち・ひと・しごと創生総合戦略ができて、まだ日もなかったんですよね。だから、それ

に基づいてどういうことをやったかということもあまりなかったと思うんですね。やる期間がなかった。でも、来年になると、結構これに基づいていろんなことが具体的に動くと思うので、そうすると本格的な意味での評価というのができるようになるんじゃないかなと思いますね。来年2年目ですから、皆さん大分学ばれたということですから、非常に前向きな、いい意見もいっぱい出てくるんじゃないかと期待をしております。

何か来年度以降のことについて、皆さんのほうからご質問とか、あるいはこうしたほうがいいんじゃないのという要望があればお願いしたいと思います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎**渡邊委員長** よろしいですか。では、最後に事務局から何かありますか。

◎**三浦企画政策課長** 今回3回ということで、皆さん活発なご議論をいただきましてありがとうございました。心から御礼を申し上げたいと存じます。またこのK P I 指標につきましては、ご案内のとおりまだまだ継続していく指標ということで、皆様もぜひ注目をしていただいて、引き続き何かご意見等がありましたら、積極的にいただければと存じます。

このたびは、本当にお忙しい中ご参加いただきまして、ありがとうございました。

◎**渡邊委員長** では、以上をもって本日の議題は全て終了しました。ありがとうございました。

(午後7時03分閉会)